

# 株式投資サマナーセミナー 会社説明資料

2012年9月

名証2部&ジャスダック：7593

VT HOLDINGS CO.,LTD  
VTホールディングス株式会社

# VTホールディングス(株)グループの概要

設立	1983年3月
本社	愛知県東海市
資本金	24.9億円
主な事業内容	自動車販売関連事業（売上構成比 97%）
連結売上高	959億円（2012年3月期実績）
連結営業利益	66億円（2012年3月期実績）
連結経常利益	65億円（2012年3月期実績）
拠点数 （2012年6月現在）	自動車販売拠点 158店舗（国内142店舗,海外16店舗） レンタカー店舗 94店舗（直営27店舗,FC67店舗）
グループ従業員数	2,404名（2012年6月末日現在）
グループ構成	連結子会社25社、持分法適用関係会社3社 （2012年6月末日現在）
発行済株式数	36,793,678株（2012年6月末日現在）

## 1998年9月に名証2部上場後、M&Aを開始

1999年 3月	(株)ホンダ自販名南	ホンダ系ディーラー (5店舗)	株式譲受	■ 現ホンダカーズ 東海
1999年 3月	(株)フォードライフ中部	フォード系ディーラー (9店舗)	株式譲受	■ 現フォードライフ中部
1999年 6月	(株)オリックスレンタカー中部	レンタカー会社 (2店舗)	営業譲受	■ 現J-netレンタリース
1999年 9月	(株)フォード鈴鹿	フォード系ディーラー (1店舗)	営業譲受	
2000年 2月	(株)フォード新岐阜	フォード系ディーラー (1店舗)	営業譲受	
2000年 4月	(株)ホンダベルノ岐阜 中京ホンダ(株)	ホンダ系ディーラー (2店舗) ホンダ系ディーラー (3店舗)	営業譲受 株式譲受	
2000年 5月	(株)ホンダ新知多	ホンダ系ディーラー (1店舗)	営業譲受	
2000年 6月	(株)オリックスレンタカー大阪	レンタカー会社 (4店舗)	営業譲受	
2001年 5月	(株)アーキッシュギャラリー	注文住宅販売 (2店舗)	営業譲受	
2002年 1月	(株)ホンダプリモ東海中	ホンダ系ディーラー (1店舗)	営業譲受	
2003年 3月	(株)トラスト	中古車の輸出	株式譲受	
2004年 1月	(株)シー・イー・エス	コンピューターソフトの製造・販売	株式譲受	
2005年 4月	(株)エル・シー・アイ	ロータス輸入総代理店 (1店舗)	増資引受	
2005年 9月	VTインターナショナル(株)	ジャガー・ランドローバーディーラー (1店舗)	営業譲受	
2006年 1月	長野日産自動車(株)	日産系ディーラー (4 1店舗)	株式譲受	
2006年 7月	静岡日産自動車(株) 三河日産自動車(株)	日産系ディーラー (3 9店舗) 日産系ディーラー (1 3店舗)	株式譲受 株式譲受	
2011年 2月	Western Breeze Trading 23 (Proprietary) Limited	南アフリカ共和国のプジョー/フィアット・アルファロメオ系ディーラー (2店舗)	増資引受	⇒現・TRUST ABSOLUT AUTO (PTY) LIMITED
2011年10月	SOJITZ ABSOLUT AUTO (PROPRIETARY) LIMITED	南アフリカ共和国のスズキディーラー(3店舗)	増資引受	⇒現・SKY ABSOLUT AUTO (PTY) LIMITED
2012年 4月	(株)日産サティオ埼玉	日産系ディーラー (21店舗)	株式譲受	
	COLT CAR RETAIL LIMITED	英国の三菱系ディーラー (11店舗)	株式譲受	⇒現CCR MOTOR CO.LTD.

# 店舗網(自動車ディーラー)

## 自動車ディーラー

### (株)ホンダカーズ東海

HONDA販売代理店

愛知県尾張、岐阜県西濃に  
新車24店舗、中古車1店舗



[フィットシャトル]

### 長野日産自動車(株)

NISSAN販売代理店

長野県全域に新車31店舗、中古車5店舗

### 静岡日産自動車(株)

NISSAN販売代理店

静岡県中東部に新車25店舗、中古車4店舗



[リーフ]

### 三河日産自動車(株)

NISSAN販売代理店

愛知県西三河に新車11店舗、中古車2店舗

### (株)日産サティオ埼玉

NISSAN販売代理店

埼玉県東南部に新車17店舗、中古車3店舗

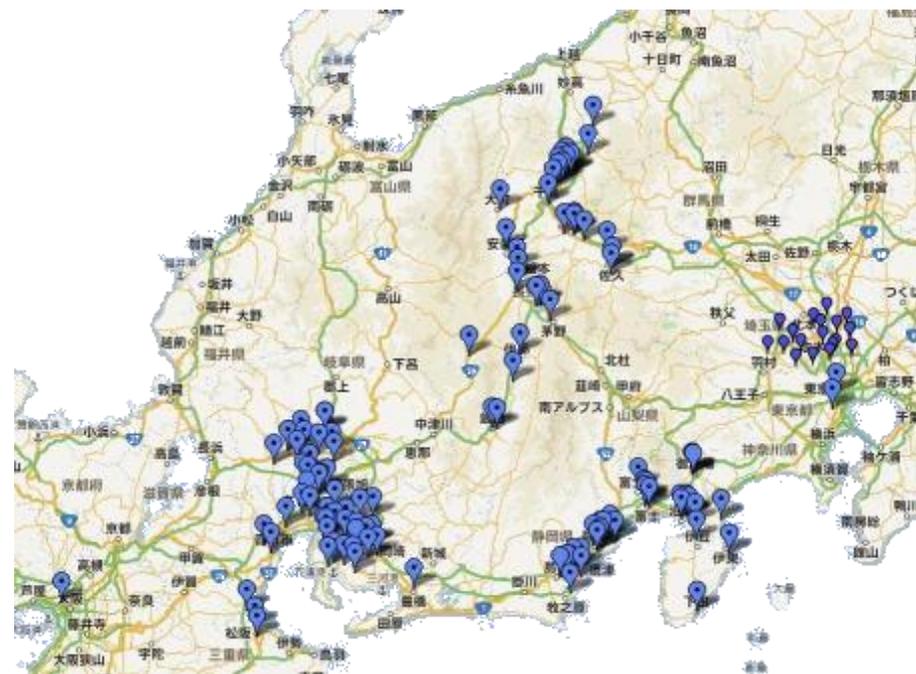
### CCR MOTOR CO.LTD.

英国の三菱自動車販売代理店

ロンドン及びイングランド南西部に新車11店舗



[コルト]



### VT インターナショナル(株)

JAGUAR・LANDROVER販売代理店

大阪に新車1店舗



[XJ]



[RANGE ROVER SPORT]

### (株)フォードライフ中部

FORD販売代理店

岐阜・三重に新車3店舗

スズキ販売代理店

愛知・岐阜・三重に新車4店舗

中古車8店舗



[EXPLORER XLT]



[ワゴンR]

2012年4月にM&Aにより子会社化

# 主な子会社 ホンダカーズ東海



**HONDA**

〈愛知県尾張、岐阜県西濃〉

- ・新車 24拠点
- ・中古車 1拠点

新車の納期遅れなど大震災の影響を受けた上半期であったが、メーカーの生産回復に加え、新型車投入等もあり下期に挽回

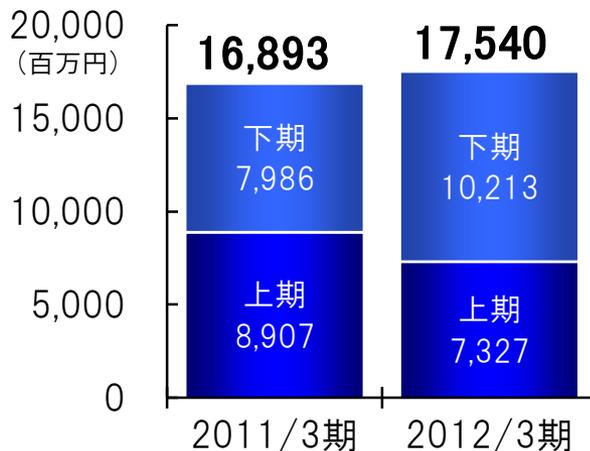
売上高、経常利益ともに過去最高を更新

売上高経常利益率  
**7.5%** (前年同期 6.8%)

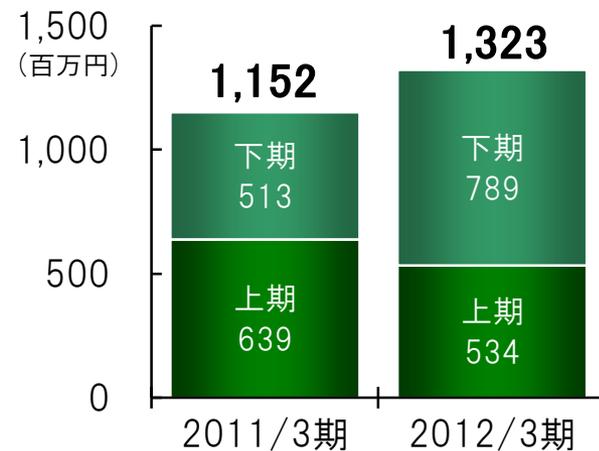
連結売上高に対する構成比  
18.3%

上場時の母体企業でもあり、ここで培われた運営ノウハウがグループ傘下の他のディーラーに注入され、収益性強化に寄与

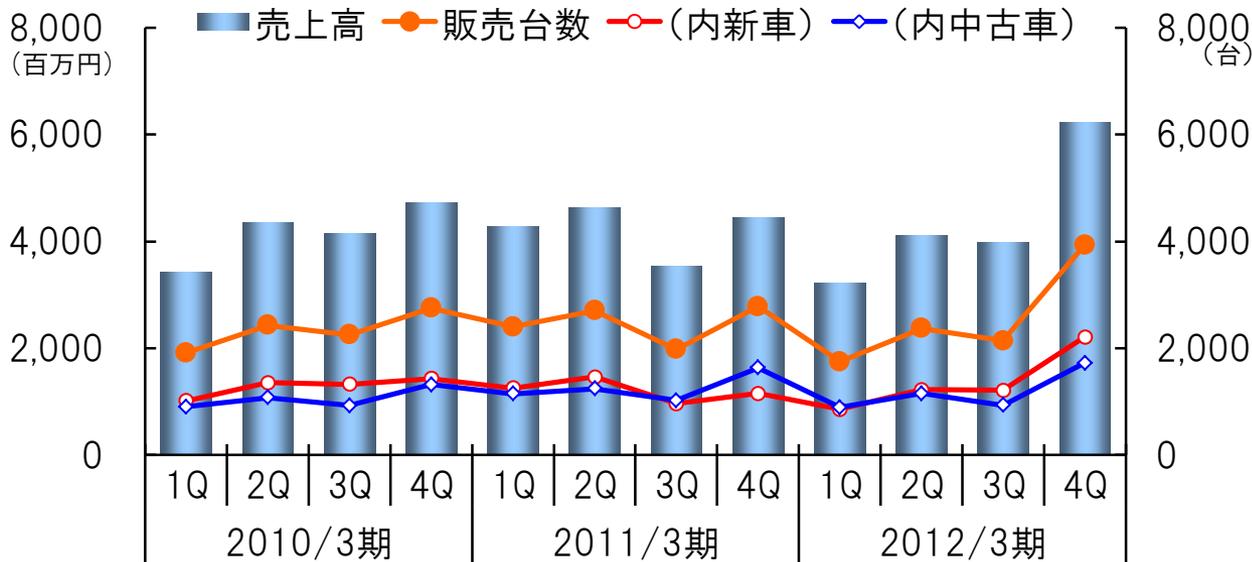
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】



# 主要子会社 長野日産自動車



<長野県全域>

- ・新車 31拠点
- ・中古車 5拠点

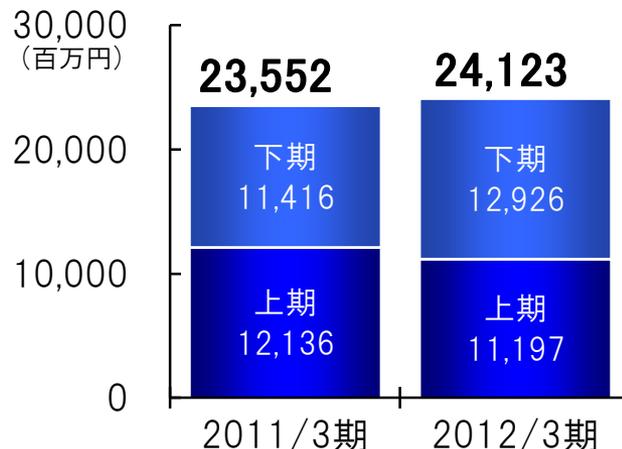
大震災の影響は、比較的早期に回復

エコカー補助金による需要増に加え、収益力強化が進んだことにより、増収増益で、過去最高益を更新

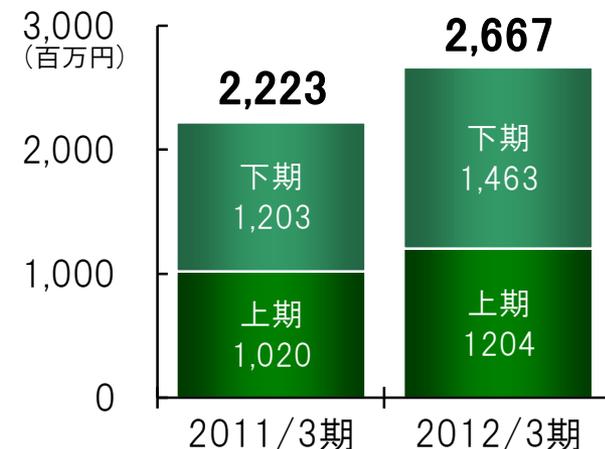
売上高経常利益率  
11.1% (前年同期 9.4%)

連結売上高に対する構成比  
25.1%

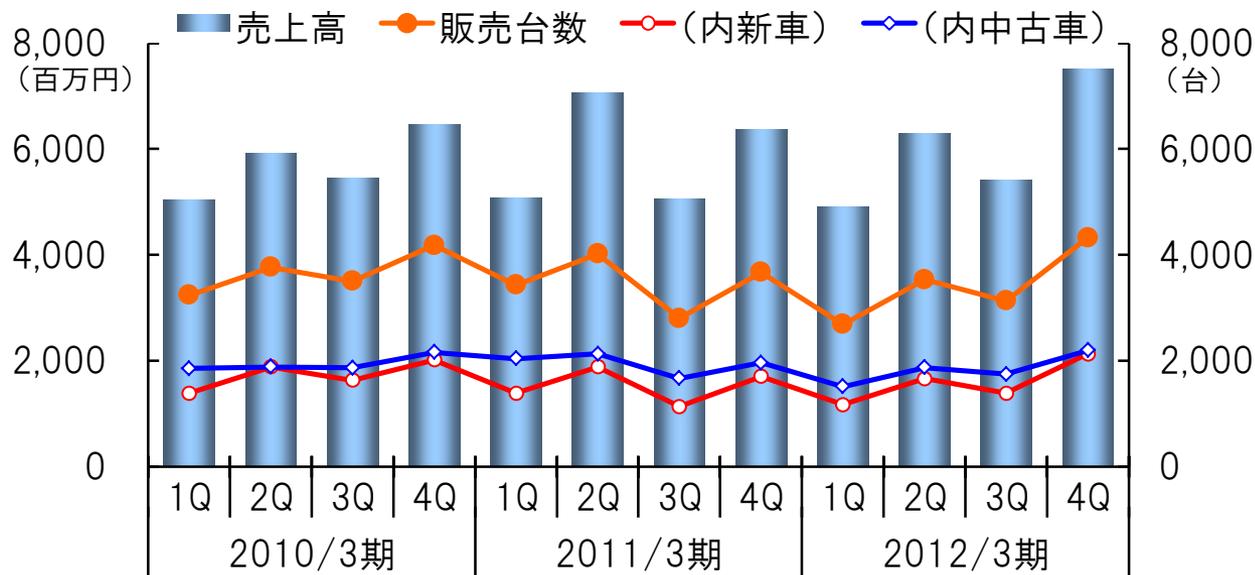
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】



# 主な子会社 静岡日産自動車



<静岡県中東部>

- ・新車 25拠点
- ・中古車 4拠点

大震災の影響は、比較的早期に回復

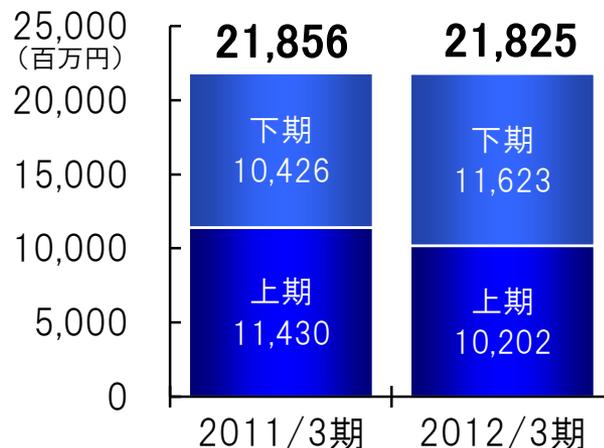
売上横ばいながら、収益性の向上により、過去最高益を更新

売上高経常利益率

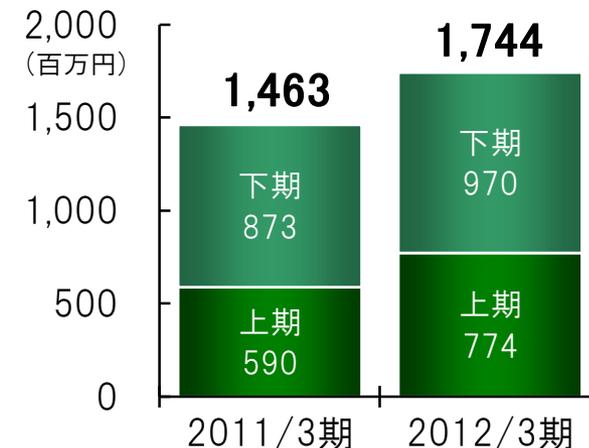
8.0% (前年同期 6.7%)

連結売上高に対する構成比  
22.7%

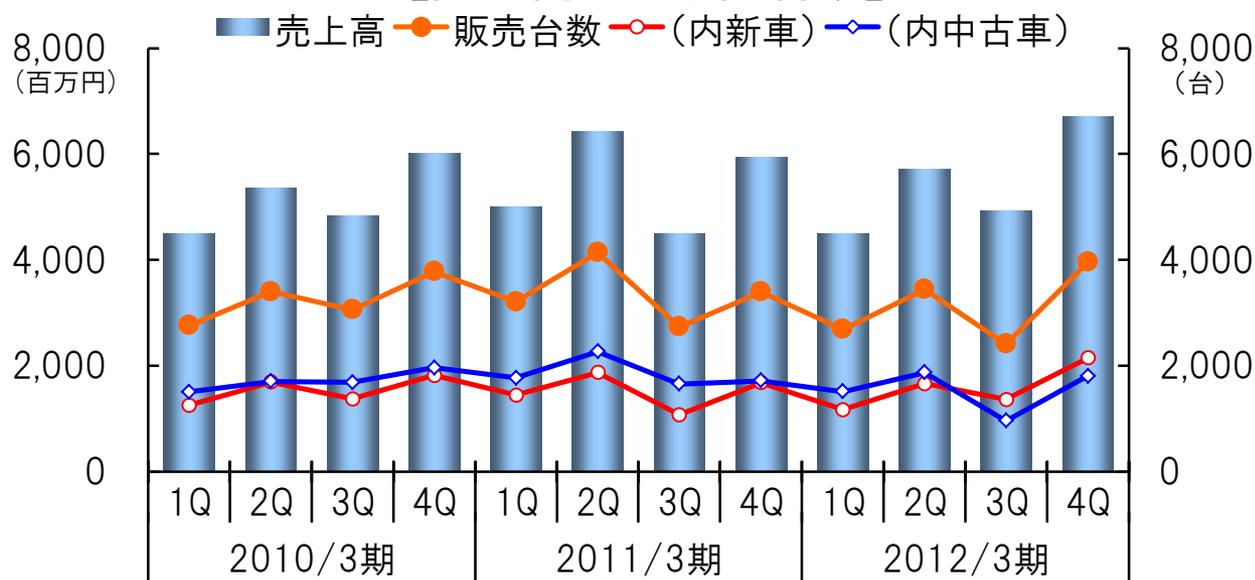
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】



# 主要子会社 三河日産自動車



〈愛知県西三河〉

- ・新車 11拠点
- ・中古車 2拠点

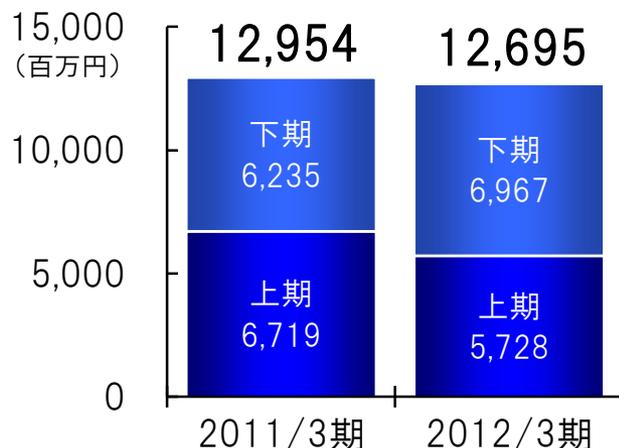
大震災の影響は、比較的早期に回復

売上微減ながら、収益性の向上により、過去最高益を更新

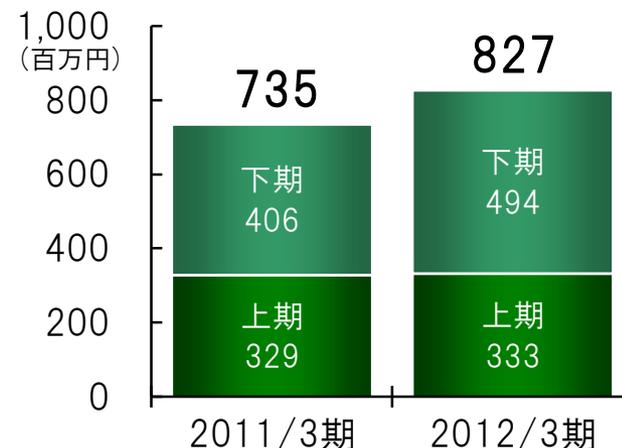
売上高経常利益率  
6.5% (前年同期 5.7%)

連結売上高に対する構成比  
13.2%

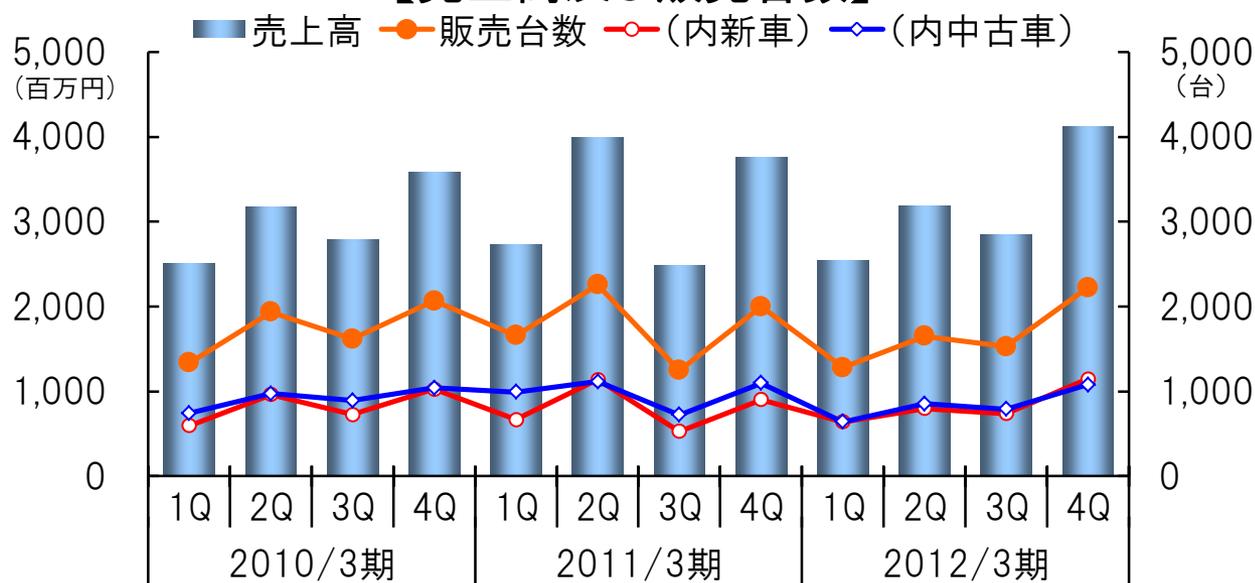
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】



# 店舗網(レンタカー及び住宅)

## レンタカー

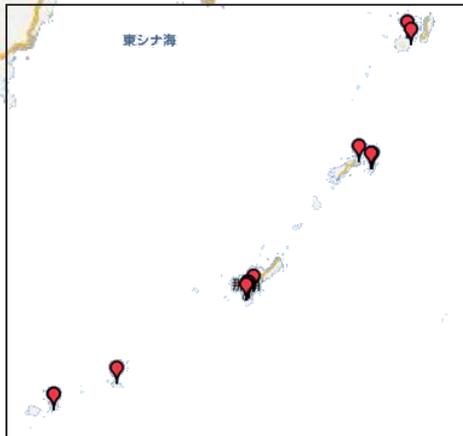
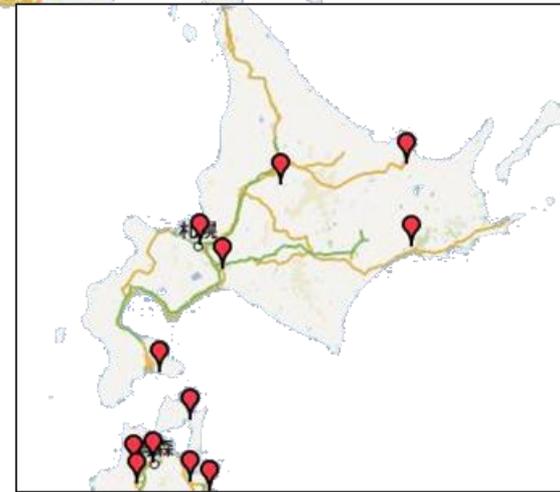
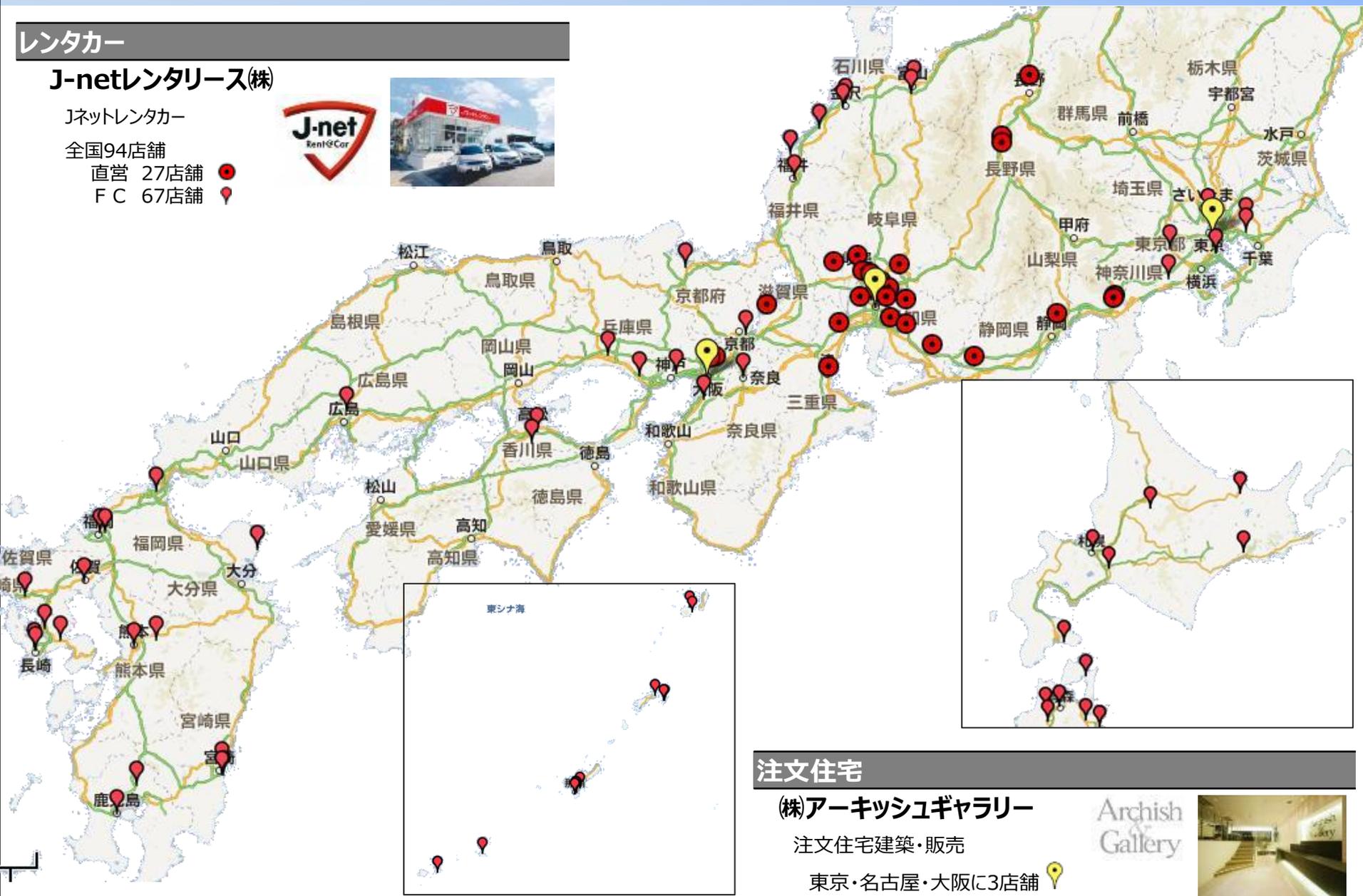
### J-netレンタリース(株)

Jネットレンタカー

全国94店舗

直営 27店舗 

F C 67店舗 



## 注文住宅

### (株)アーキッシュギャラリー

注文住宅建築・販売

東京・名古屋・大阪に3店舗 



# 主な子会社 J-netレンタリース



直営店 27店舗  
 FC店 67店舗  
 計 94店舗

(2012年3月末時点)

売上高、経常利益ともに過去最高を更新

売上高経常利益率  
**13.9%** (前年同期 14.8%)

連結売上高に対する構成比  
 5.4%

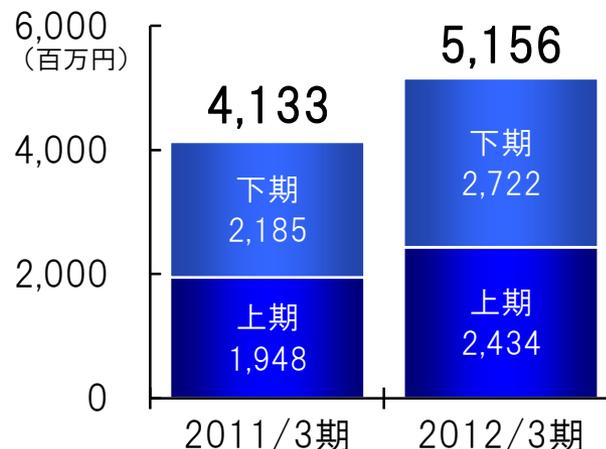
FCの新規開拓に注力し、直営、FC両面で全国展開を目指す

〈2012年3月期に新規出店したFC店舗〉

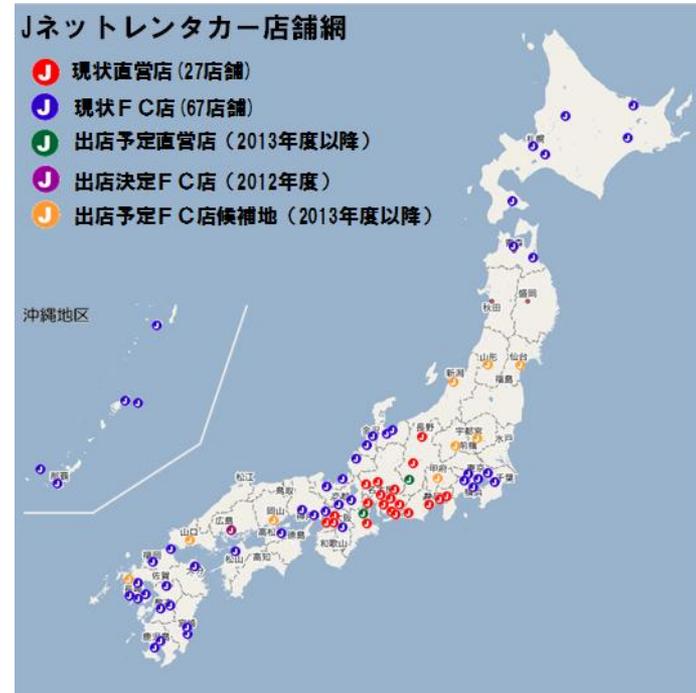
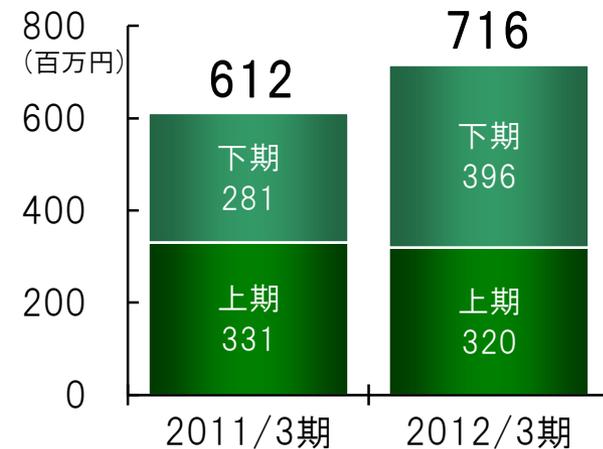
上半期 4月 灘店  
 7月 佐賀店、諫早店、長崎大橋店、長崎宝町店  
 9月 滋賀守山店

下半期 11月 弘前店、十和田店、五所川原店、下北店  
 1月 広島インター店、佐世保店、あわら湯のまち駅前店

【売上高】



【経常利益】



# 海外拠点と中古車輸出

2012年4月にM&Aにより進出

中古車輸出先

ヨーロッパ

アメリカ

アフリカ

アジア

パシフィック

2011年2月・10月にM&Aにより進出

### 自動車ディーラー（海外拠点）

**TRUST ABSOLUT AUTO (Pty.) Ltd.**

PEUGEOT販売店/FIAT・ALFAROMEO販売店  
南アフリカ共和国に新車2店舗



**SKY ABSOLUT AUTO (Pty.) Ltd.**

スズキ販売店  
南アフリカ共和国に新車3店舗



**CCR MOTOR CO.LTD.**

英国の三菱自動車販売代理店  
ロンドン及びイングランド南西部に新車11店舗



### 中古車輸出

(株)トラスト

中古車輸出事業

世界100か国以上に輸出





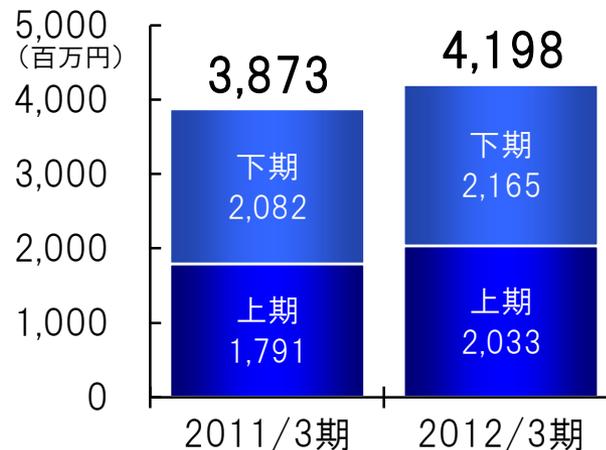
増収増益。

売上高経常利益率  
6.2% (前年同期 5.7%)

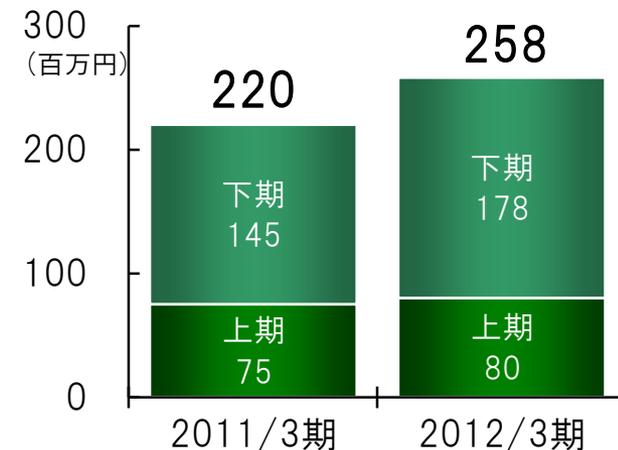
連結売上高に対する構成比  
4.4%

高額車両の販売増加により販売単価が向上し、売上高が増加。

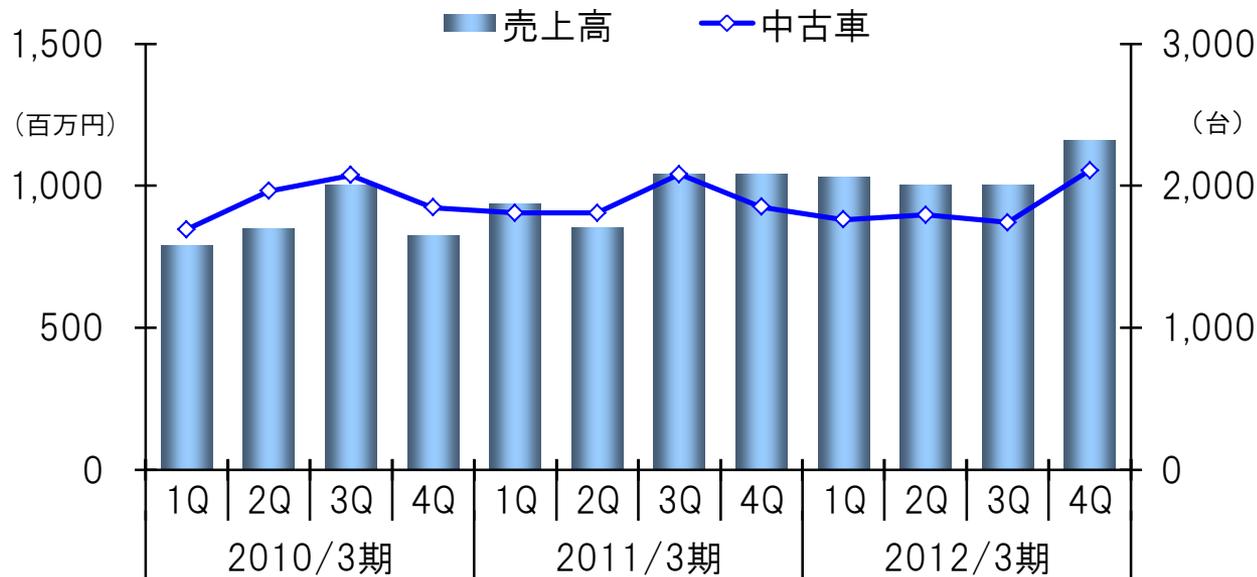
【売上高】



【経常利益】



【売上高及び販売台数】



# グループの自動車販売体制

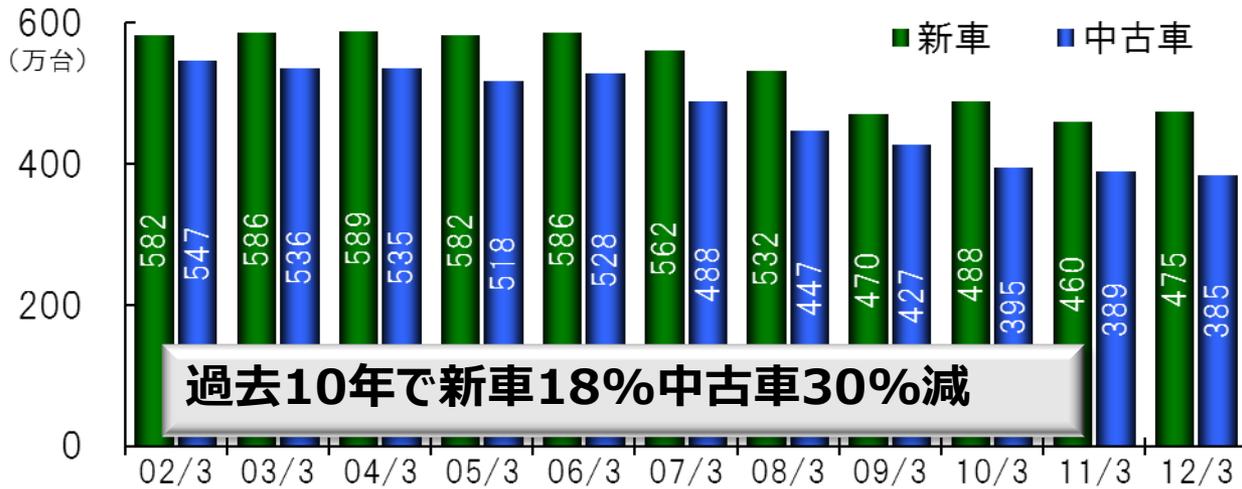
(2012年6月末日現在)

集計区分	会社名	ブランド別	店舗数			代理店数	
			新車	中古車	合計		
国内	ホンダ	(株)ホンダカーズ東海	ホンダ	24	1	25	—
	日産	長野日産自動車(株)	日産	31	5	36	—
		静岡日産自動車(株)	日産	25	4	29	—
		三河日産自動車(株)	日産	11	2	13	—
		(株)日産サテオ埼玉	日産	17	3	20	—
	その他のディーラー	(株)フォードライフ中部	スズキ	4	8	15	—
			フォード	3			
		VTインターナショナル(株)	ジャガー/ランドローバー	1	1	—	
	輸入車インポーター	ピーシーアイ(株)	SAAB				13
			ケータハム				20
エルシーアイ(株)		ロータス	2		2	17	
レンタカー	J-netレンタリース(株)	—		1	1	—	
海外	その他のディーラー	TAA	フィアット/アルファ	1		2	—
			プジョー	1			—
		SAA	スズキ	3		3	—
		CCR	三菱	11		11	—
			134	24	158		

※青字は、12/3期にM&Aした子会社 赤字は、13/3期にM&Aした子会社

## 登録台数減少するも、保有台数は増加

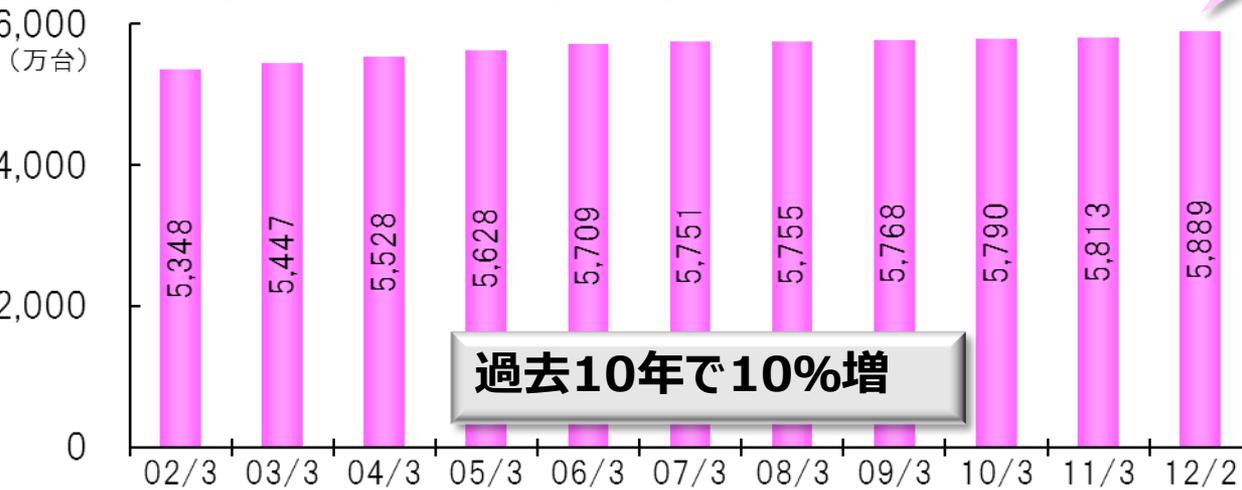
【全国 新車・中古車 登録台数】



自動車の登録台数は、新車・中古車ともに減少傾向

当社収益の約40%を占めるサービス部門は、保有台数を収益源とするストックビジネスであるため、**引続き安定的に収益確保の見込**

【全国 乗用車保有台数】



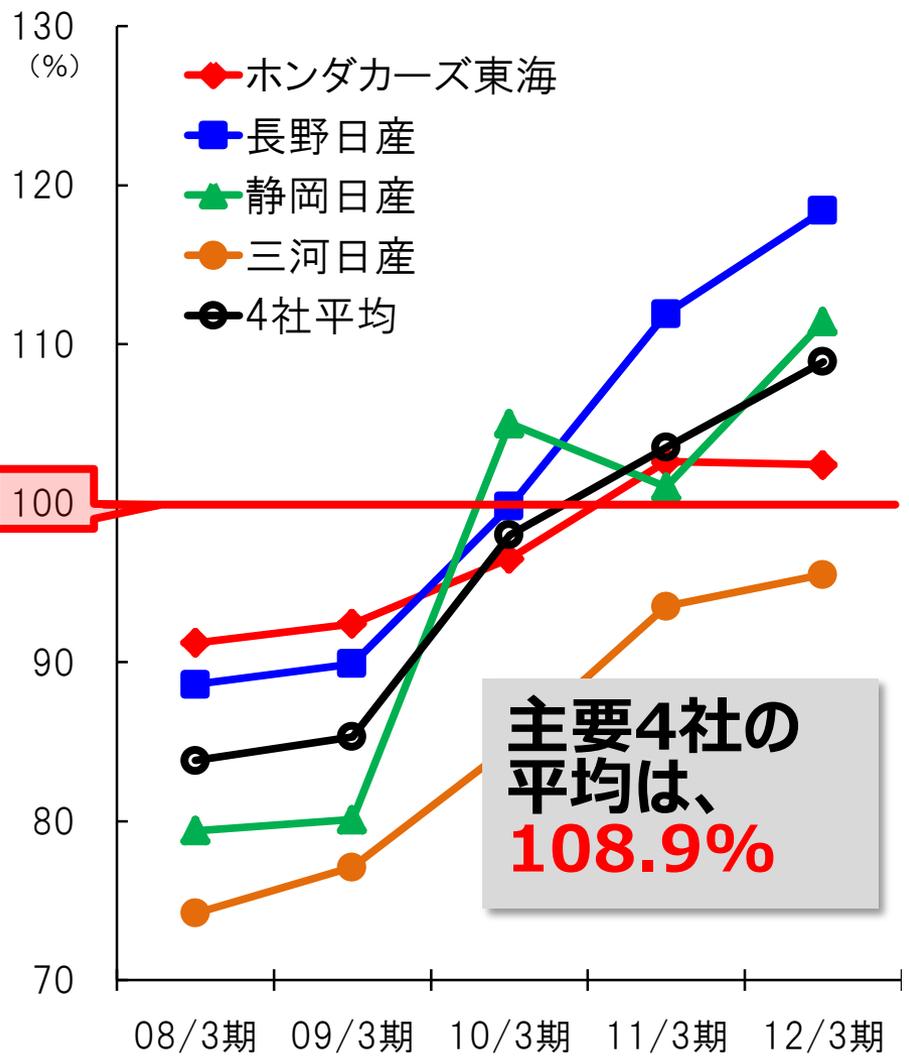
保有台数は、車輛の保有年数が長くなったことなどもあり、増加傾向

※ 登録台数は、(社)日本自動車販売協会連合会調べ  
※ 乗用車保有台数は、(財)自動車検査登録情報協会調べ

## 基盤収益カバー率を更に改善

基盤収益カバー率  
 = 新車以外の粗利益 ÷ 販管費  
 (新車以外の部門の利益で、販管費をどの程度カバーできるかを表す指標)

【基盤収益カバー率】



✓ 100%を超えれば、新車が売れなくても赤字にならない

✓ メーカー次第となる新型車の発売サイクル等、外部要因に左右されやすい新車部門以外で、コストを賄う「**新車が売れなくても赤字にならない企業体質**」が更に定着

✓ 主要4社で、グループ全体の売上高の79%を占める。

主要4社の平均は、**108.9%**

※ 基盤収益カバー率については、連結調整など考慮前の各社個別の決算数値に基づきつつ、一部4社比較の為の修正を行っております。

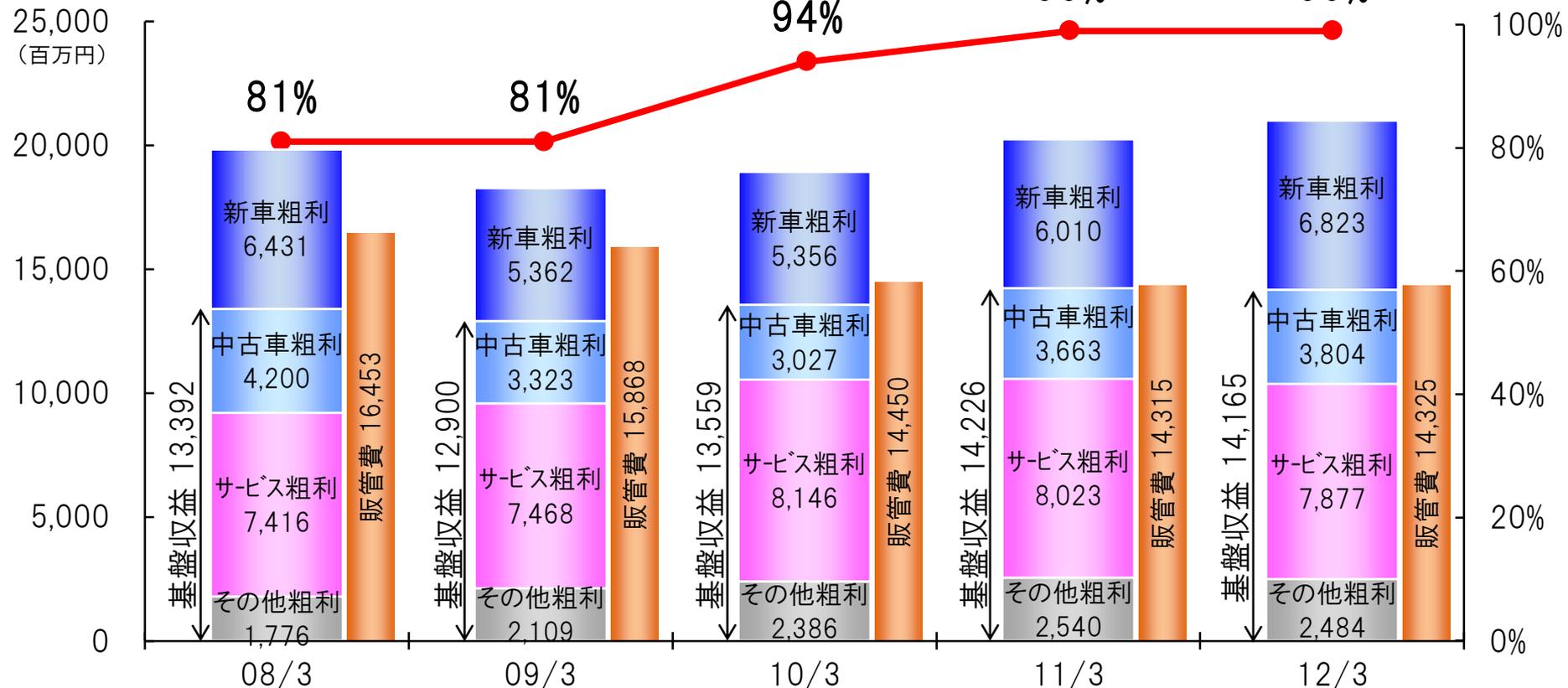
※ 4社平均は、各社の売上高に応じて、加重平均しております。

## 「新車販売に依存しない収益体質」

✓新車部門以外の粗利益により、販管費のほとんどをカバーできており、赤字になりにくい収益体質を構築(基盤収益カバー率99%)

【連結ベースの基盤収益カバー率】

● 基盤収益カバー率



## 3期連続で過去最高益を更新

✓ 営業利益、経常利益、当期純利益のすべての項目で**過去最高益**

(単位:百万円)	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3	前期比
売上高	107,976	93,430	88,276	92,657	95,974	103.6%
営業利益	3,370	2,393	4,464	5,919	6,662	112.5%
経常利益	3,059	1,929	4,226	5,700	6,562	115.1%
当期純利益	1,161	△423	1,809	2,763	4,361	157.8%
1株当たり当期純利益 (EPS)	34.02円	△12.61円	53.62円	80.69円	126.93円	157.3%
自己資本当期純利益率 (ROE)	15.0%	△5.4%	21.1%	25.2%	30.9%	+5.7%

# 2012年3月期 決算(B/Sサマリー)

## 純資産の増加

(前期末比+38億円)

・当期純利益 +43億円  
・配当金の支払 △6億円 等

## 自己資本

前期末から、約37億円増加し、約160億円

自己資本比率は、前期末比3.7%改善し、22.3%

## 実質有利子負債の圧縮

前期末から、約29億円圧縮し、約198億円

ピーク時(09/3期)から約150億円(43%)圧縮

(単位:百万円)		08/3	09/3	10/3	11/3	12/3
	現金及び預金	2,297	1,908	7,042	6,412	6,639
	その他	16,076	14,000	16,110	14,221	19,992
流動資産合計		18,373	15,908	23,152	20,634	26,631
	有形固定資産合計	26,521	29,068	25,311	26,667	27,096
	無形固定資産合計	14,139	13,315	12,502	11,688	10,926
	投資その他の資産合計	8,661	7,712	6,862	6,739	6,947
固定資産合計		49,321	50,096	44,676	45,095	44,970
繰延資産		4	-	-	-	-
資産合計		67,699	66,005	67,829	65,730	71,601
	流動負債合計	41,802	44,364	42,893	37,813	41,872
	固定負債合計	15,134	13,376	14,446	14,815	12,807
負債合計		56,937	57,741	57,339	52,628	54,680
	資本金・剰余金	8,427	7,793	9,760	12,372	16,117
	自己株式	△100	△218	△193	△286	△380
株主資本合計		8,327	7,574	9,567	12,086	15,737
その他		2,434	689	922	1,015	1,184
純資産合計		10,762	8,263	10,489	13,101	16,921
負債純資産合計		67,699	66,005	67,829	65,730	71,601
＜実質有利子負債＞		28,666	34,677	25,876	22,757	19,876

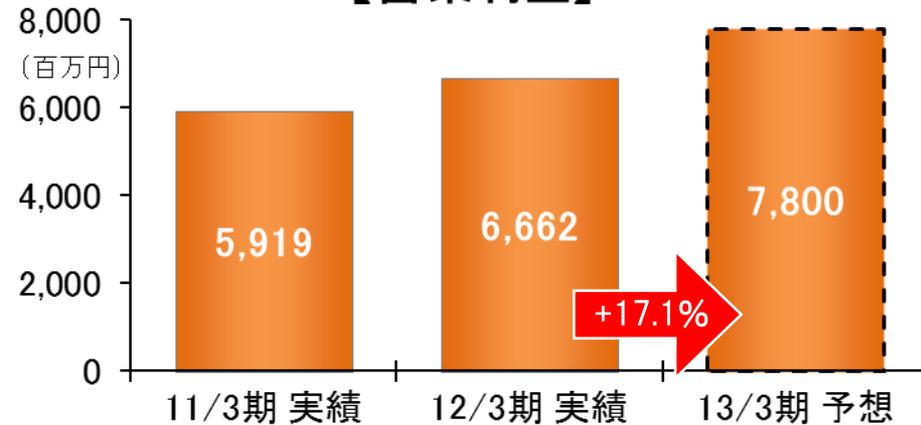
## 売上高、営業利益、経常利益は、過去最高を更新見込

既存会社も堅調に推移し、更に2012年4月に子会社化した自動車ディーラー2社が増収増益に寄与。

【売上高】



【営業利益】



【経常利益】



【当期純利益】



# M&Aの業績に与える影響

## ●2012年4月2日に以下の2社をM&Aし、連結子会社化

### (株)日産サティオ埼玉

埼玉県の東南部において、日産系の新車ディーラー17店舗と中古車4店舗を運営

M&A前の直前期の売上高は、約109億円(新設分割前の旧(株)日産サティオ埼玉の実績)

4月2日に1,500円で株式取得後、財務基盤の安定化を図るため、15億円の増資を実施

### CCR MOTOR CO.LTD. (M&A時の商号は、COLT CAR RETAIL LIMITED)

英国のロンドン及びイングランド南西部において、三菱自動車の新車ディーラーを11店舗運営

M&A前の直前期の売り上げは、約105億円(15か月決算)

## ●2社とも2013年3月期の連結業績に12ヵ月分がフル寄与

業績予想では両社合わせ、売上高約200億円、経常利益約5億円を見込む

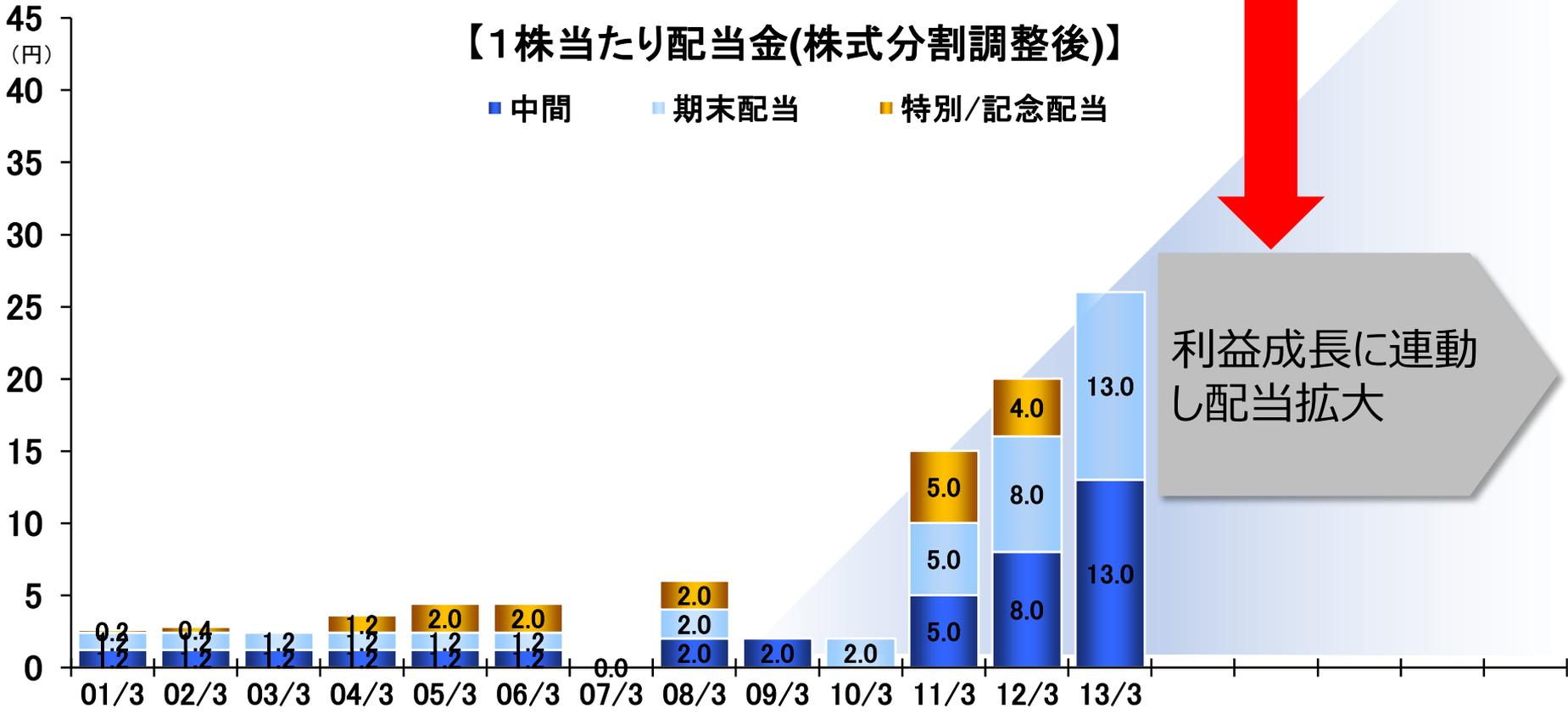
# 配当政策について

## 2013年3月期は、年間配当26円を予想

2012年3月期は、年間配当20円（前年比+5円）、連結配当性向15.8%

2013年3月期は、年間配当26円（前年比+6円）、連結配当性向21.0%の見込

今後も連結配当性向20%を目標に、業績に応じた配当を継続的に実施する方針



# 中期経営目標

## ●売上高経常利益率 8%以上

- ✓ 2012年3月期の売上高経常利益率6.8%
- ✓ 当社グループ内で最も高い収益性を誇る長野日産自動車（経常利益率11.1%）をベンチマークに、グループ全社の収益性向上を図る
- ✓ M & Aにより子会社化した新会社の収益力を早期に向上させること、中古車輸出事業とのシナジー創出、レンタカー事業の全国展開等がポイント

## ●自己資本比率 30%以上

- ✓ 2012年3月期末の自己資本比率22.3%
- ✓ 自己資本蓄積のための収益性向上策は、上記のとおり
- ✓ 投資効率を重視したM & Aにより、事業拡大と有利子負債の圧縮を営業キャッシュフローの範囲内で、両立させる

**高い収益効率の実現により、事業規模の拡大と財務の安定性を両立させ、安定成長を目指す**

# 安定成長の実現に向けて

キャッシュフローの範囲内で継続的にM&Aに取組み、『事業規模の拡大』、『収益性の向上』、『財務体質の強化』のすべてのテーマをバランスさせた成長シナリオを目指します



- 本資料は、信頼できると思われる各種データや情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料に示したすべての内容は、当社の現時点での判断を示しているに過ぎず、実際の業績は経営・財務状況の変化などにより本資料の論旨と一致しない場合があります。
- 本資料は、情報提供のみを目的としたものであり、特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。

VT HOLDINGS CO.,LTD  
**VTホールディングス株式会社**